

# 宇宙エレベーターロボット 製作，プログラミング教室・競技会

日時 平成30年8月8日(水)10:30~15:30

場所 山形県産業科学館 4階発明工房

参加者 今年秋に開催する山形の競技会に  
参加を希望する小学校児童

参加費 無料

参加定員 14名(ロボット1台を2名で製作します)

定員になり次第締め切ります。

持ち物 レゴマインドストーム基本セット  
(NXT または EV3) , ノートPC



参加希望の方は下記までメールでお問い合わせ下さい。



## 宇宙エレベーターロボット競技会とは

1979年にSF作家のアーサー・C・クラークが小説「楽園の泉」で発表し、2012年、(株)大林組が2050年に宇宙エレベーターを実現させると発表し世界を驚かせました。30人乗りのかごが、高度3万6000キロのターミナル駅まで1週間かけて向かうという壮大な計画です。夢の実現には、世界中の人たちが力を合わせ、新しいアイデアや技術を駆使し、問題解決を図って行かなければなりません。その担い手は、何といても子どもたちです。子どもたちが宇宙エレベーターという夢の乗り物に憧れ、興味を持って携わって行くことが大切です。そこで、小学生や中学生、高校生が参加できる実験を始めました。それが、レゴブロックを使った宇宙エレベーターロボット競技会です。この競技会では、プログラミングロボット教材のマインドストームを使って宇宙エレベーターロボットを製作し、昇降実験を行いながら物資や人を運ぶときの問題点、安全について考えることを目的としています。

問い合わせ先 やまがたロボットクラブ 齋藤 薫

E-mail: [csc@jan.ne.jp](mailto:csc@jan.ne.jp)